

3CH GUITAR PRE-AMP A3GP MARK II

取扱説明書

この度はA3GP MARK IIをお買いいただき、誠にありがとうございます。この製品を末永く正しくご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読み下さい。

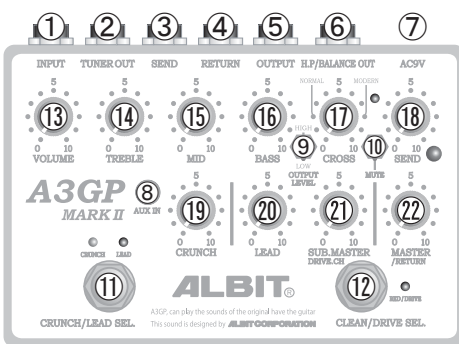
A3GP MARK IIの特長

「ギター本来の音を忠実に再現する」というA3GPのコンセプトはそのままに、細部を熟成し、2つの新機能を追加しました。

接続機器に合わせて出力が選べる「OUTPUT LEVELスイッチ」を新搭載、また、AUX INをRCA端子から3.5mmジャックに変更しました。

真空管とICによるハイブリッド・サーキット構成はそのまま、ALBITならではの、コンパクトかつ必要十分な機能とパワーを、是非ご体感ください。

各部名称と働き



■ジャック類 - ①～⑧ -

- ① INPUT
楽器を接続する入力ジャックです。
- ② TUNER OUT
チューニング用のチューナーを接続します。
- ③ SEND
エフェクトループのSENDジャックです。エフェクター類のインプットへ接続します。
- ④ RETURN
エフェクトループのRETURNジャックです。エフェクター類のアウトプットより接続します。

⑤ OUTPUT
出力ジャックです。⑨OUTPUT LEVELスイッチにて出力レベルが変更されます。

⑥ H. P./BALANCE OUT
ヘッドフォンジャックです。インピーダンスが30Ω以上のヘッドフォンを接続してください。30Ω以下のヘッドフォンやスピーカーを接続すると故障する恐れがございますので、接続しないでください。また、バランスアウトとしてミキサーなどの接続へ使用することも可能です。その際はフォーンプラグ（ステレオ・3極タイプ）よりXLR端子の変換コードなどをご利用ください。

⑦ AC9V
付属専用電源アダプターの接続ジャックです。必ず付属の電源アダプターを接続してください。他のアダプターを接続すると故障の原因になります。

⑧ AUX IN
オーディオプレイヤーなどを接続する3.5mmジャックです。音量は接続した機器にて調整してください。

■スイッチ類 - ⑨～⑫ -

⑨ OUTPUT LEVEL
パワーアンプのインプットへ接続する場合は、スイッチをHIGH側へ、エフェクトループのリターン・アンプのインプットへ接続する場合は、スイッチをLOW側へ設定してください。※次項の「セッティングのポイント」に記載されている「OUTPUT LEVELスイッチについて」も合わせてお読みください。

⑩ MUTE
チューニング時などに音を消す場合スイッチを上側に設定します。スイッチ上のLED点灯時にミュートされます。

■コントロール類 - ⑬～⑲ -

⑬ VOLUME
CLEANチャンネル用のボリュームです。右にまわすほど音量が大きくなります。※音に芯を出す目的でCRUNCH/LEADチャンネル時も作動しています。

⑭ TREBLE
右にまわすほど高音域が強調されます。

⑮ MID
右にまわすほど中音域が強調されます。

⑯ BASS
右にまわすほど低音域が強調されます。

⑰ CROSS
トーンコントロールのTREBLEとBASSが交差する部分のMIDの位置を、低域から中高域へと移動させるツマミです。NORMALの位置でアメリカを代表するアンプのトーンコントロール風から、MODERNの位置でイギリスを代表するアンプのトーンコントロール風に変化する独自のコントロールです。

⑱ CRUNCH/LEAD SEL
CRUNCHチャンネルとLEADチャンネルの切り替えスイッチです。スイッチ上のLEDにて選択されているチャンネルの確認ができます。

⑳ CLEAN/DRIVE SEL
CLEANチャンネル・DRIVEチャンネルの切り替えスイッチです。スイッチ右側の赤いLEDが点灯時にDRIVEチャンネルになり、㉑CRUNCH・㉒LEADが有効になります。

㉓ SEND
SENDジャックのアウトプットレベルを調整します。接続するエフェクターに合わせて調整してください。

㉔ CRUNCH
CRUNCHチャンネル用のゲインボリュームです。

㉕ LEAD
LEADチャンネル用のゲインボリュームです。

㉖ SUB. MASTER
DRIVEチャンネルの音量を、CLEANチャンネルに合わせるためのツマミです。右にまわすほど音量が大きくなります。CRUNCH/LEADチャンネルのみで使用する場合は、上げ気味にセットしてください。

㉗ MASTER/RETURN
全体の音量をコントロールするツマミです。それぞれセットアップされたレベルを変えることなく、音量が調整できます。また、エフェクトループにエフェクターを接続した場合は、MASTERを兼ねたRETURNコントロールになります。

セッティングのポイント

■ 3チャンネルで使用する場合

・はじめにCLEANチャンネルの⑳VOLUMEで、CLEANチャンネルの音量を決めてください。この時㉒MASTERは8～10にセットしてください。

・㉑SUB. MASTERをあらかじめ、1～2前後にセットし、㉓CRUNCH/LEAD SELスイッチでCRUNCHチャンネル、及びLEADチャンネルのゲインを調整した後、㉔SUB. MASTERにて音量を調整して下さい。

・CLEANチャンネルの⑳VOLUMEは、CRUNCH/LEADのチャンネルのサウンドに芯を付ける目的で、DRIVEチャンネル時でも作動しています。※㉑SUB. MASTERを最小にしても、CLEANチャンネルの音は消えずに出力されます。CRUNCHで使用する場合、⑳VOLUMEを上げ過ぎると、CLEANチャンネルの成分が多くなり、聴感上CRUNCHではなく、CLEANに近いサウンドになり、CRUNCHとの差が目立たなくなります。なお、CRUNCH/LEADチャンネルのみで使用する場合、お好みで⑳VOLUMEを最小にして使用することも、音作りの方法として可能です。

■ OUTPUT LEVELスイッチについて(音量が大きすぎるなどでお困りの方へ)

⑨OUTPUT LEVELスイッチはHIGH側(上側)でパワーアンプのインプット(POWERAMP IN)へ接続する際の適正レベル(0dB~+4dB)、LOW側(下側)で一般的なエフェクトループのリターン(-20dB)アンプのインプットへ接続する際の適正レベルに、出力レベルが切り替わります。

音量が大きすぎる場合や、待機ノイズが多い場合などは、レベルのミスマッチが原因として考えられますので、その場合は⑨OUTPUT LEVELスイッチをLOW側へ切り替えてみてください。

なお、エフェクトループのリターンは、アンプによって入力レベルが異なることがありますので、音量が適正な音量になるようにスイッチをHIGH側・LOW側へ変更してください。

■ アンプのインプットへ接続について

パワーアンプのインプットや、エフェクトループのリターンがない場合、アンプのインプットへ接続してご利用いただくことも可能です。

アンプのインプットへ接続する場合は、⑨OUTPUT LEVELスイッチをLOW側(下側)へ設定し、⑩MASTERをあらかじめ低めにセットしてください。インプットが2つ(HIGH+LOW)ある場合は、LOW側へ接続してください。

次に、A3GP MARK IIを接続するアンプのトーンコントロールをフラットにした上で、A3GP MARK IIのトーンコントロールをお好みにセットしてください。

A3GP MARK IIにて音作りが完了したら、最終的にアンプのトーンコントロールをフラットの状態から変更しても問題はありません。最後に低めにセットした⑩MASTERにて音量を調整してください。

■ オーディオインターフェースへの接続について

オーディオインターフェースにA3GP MARK IIを接続する場合は、⑥OUTPUT、または⑥H.P./BALANCE OUTから接続してください。

なお、⑥OUTPUT LEVELスイッチは、接続するオーディオインターフェースの入力レベルに合わせてセットしてください(入力レベルが-20dB付近の場合はLOW側へ、0dB~+4dB付近の場合はHIGH側へセット)。入力レベルはお持ちのオーディオインターフェースの取扱説明書などを参照してください。

■ エフェクターの接続について

A3GP MARK IIにエフェクターを接続する場合は、全体的なバランスの取りやすさから、接続する位置を下記のように推奨しております。

歪み系エフェクター:エフェクターのアウトプットから①INPUTに接続。

空間系エフェクター:③SEND/④RETURNの間に接続。

ただし、接続する位置によって出音が変わるため、歪み系のエフェクターを③SEND/④RETURNの間に接続するなど、接続したエフェクターが正常に動作する場合は、お好みの位置に接続して問題はありません。

なお、A3GP MARK IIのエフェクトループは、一般的なアンプのエフェクトループと同様の使用が可能です。

付属の専用電源アダプターについて

付属の専用電源アダプターは、携帯電話の充電器などで使用しているスイッチング電源回路による小型のDC専用アダプター(+ーのある直流タイプで電池の充電用など)とは異なります。

このアダプターは、内部にトランスが搭載され、AC専用で出力が9Vの仕様です。

一般のエフェクター用(DC9V:直流)とは違い、AC9V(交流)ですので、根本的に仕様異なります。一般のエフェクター用の電源アダプターは、専用電源アダプターが付属している弊社製品には使用できません。

なぜ、この専用電源アダプターを採用しているのかというと、弊社の製品には真空管を搭載している機種が多く、真空管を大型アンプ同様に高電圧でドライブさせるためです。

実際にAC9Vの専用電源アダプターを接続した、真空管を搭載している製品の内部では、高い箇所まで100~150V近くまで電圧を上げ、真空管を作動させています。

また、真空管を点灯させるのに多少電力が必要なため、専用電源アダプターの形状が少々大型になっています。

これらは全て、音質を重視した製品設計の観点から、専用電源アダプターを採用しております。

製品仕様

電源.....	AC9V(付属専用電源アダプター)
真空管.....	12AX7×1(選別品)
コントロール.....	VOLUME・TREBLE・MID・BASS・CROSS・SEND・CRUNCH・LEAD・SUB・MASTER・MASTER/RETURN
端子.....	INPUT・TUNER OUT・RETURN・OUTPUT・H.P./BALANCEOUT・AC9V・AUX IN
スイッチ.....	OUTPUT LEVEL・MUTE・CRUNCH/LEAD・SEL・CLEAN/DRIVE・SEL
インジケーター.....	電源(5φ青)・CRUNCH(3φ緑)・LEAD(3φ赤)・DRIVE(3φ赤)
入力インピーダンス.....	470KΩ
出力インピーダンス.....	BALANCE:100Ω・UNBALANCE:470Ω
外形寸法.....	150mm(W)×106mm(D)×58mm(H)
重量.....	620g
付属品.....	AC/AC付属専用電源アダプター×1・取扱説明書・保証書

※規格及び、外観は改良の為、予告なく変更する可能性があります。

お問い合わせ先

■ALBIT・Cranetortoise製品全般及び修理に関するお問い合わせ先

TEL:048-928-1637 FAX:048-922-5742

■ALBIT・Cranetortoise製品全般の修理送り先

〒340-0035

埼玉県草加市西町1382-3 アルビットコーポレーション

■メールのお問い合わせ先

info@albit.jp

■最新情報はホームページにて

http://www.albit.jp

